



岐阜信用金庫



2023年8月30日

株式会社 大雄との

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、持続可能な社会への貢献を共に実現するため、株式会社 大雄（代表取締役 阿部 嘉澄）と、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

岐阜信用金庫は、引き続き、地域金融機関としての責任を果たし、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの普及と持続可能な社会を実現するために、お客さまの目標にあわせたサポートを行い、ポジティブな社会的、環境的、経済的なインパクトの実現に積極的に関与してまいります。

記

【契約内容】

融資金額	100百万円
期間	10年
資金用途	事業資金

【企業概要】

発行企業名	株式会社 大雄
所在地	岐阜県各務原市鵜沼西町4丁目69番地
代表者	阿部 嘉澄
事業内容	総合建設業
資本金	20百万円
設立	1966年6月1日
第三者評価機関	株式会社 格付投資情報センター 評価レポート： https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html

以上

株式会社大雄
ポジティブインパクトファイナンス評価書

2023年8月30日

GIFUSHIN



おかげさまで100周年

岐阜信用金庫が株式会社大雄（以下、「当社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、当社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、岐阜信用金庫が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 事業概要

(1)企業概況	-4-
(2)沿革	-4-
(3)企業理念	-5-
(4)品質方針	-5-
(5)環境方針	-6-

2. サステナビリティ

(1)家づくりによるまちづくりへの貢献	-6-
(2)社会貢献に資する取り組み	-6-
(3)環境に資する取り組み	-7-
(4)人材に資する取り組み	-7-

3. インパクトの分析

(1)事業内容	-8-
(2)事業のバリューチェーン	-9-
(3)インパクトレーダーによるマッピング	-11-
(4)インパクトの特定	-17-
(5)インパクトニーズの確認	-20-

4. KPI の設定

5. モニタリング方法およびマネジメント体制

(1)当社におけるインパクトの管理体制	-25-
(2)当金庫によるモニタリング	-25-
(3)モニタリング期間	-25-

1. 事業概要

(1)企業概況

当社は、岐阜県各務原市に本社を構え、岐阜県および愛知県を中心に、一般住宅の施工・リフォーム、土木工事、不動産の売買・仲介・管理を行っている。きめ細やかなサービスに定評があり、モデルハウスや見学会も充実していることから、特に岐阜県内でのブランド力は随一といえる。当社は地域に根差した経営の構築を図っており、その一環として住宅相談体制を充実させるために、パン工房やカフェの運営も行っている。地元住民に愛される店舗を目指し、国産小麦、国産バター、無添加生地にこだわった大人にも子供にも安心・安全のパンを提供している。

会社名	株式会社大雄
本社所在地	岐阜県各務原市鵜沼西町4丁目69番地
代表者	代表取締役 阿部 嘉澄
資本金	2,000万円
売上高	44億円（2022年12月期）
設立	1966年6月1日
事業内容	1.木造注文住宅の設計・施工及び管理 2.RC及び鉄骨建築の設計・施工及び管理 3.建物の改修・リフォームの施工及び管理 4.宅地造成、外構造園及び駐車場舗装等土木工事の設計・施工及び管理 5.不動産の売買及び仲介・管理 6.パンの製造・販売、雑貨の販売、カフェの経営
従業員数	91名（2023年4月現在）
関連会社等	株式会社イープロジェクト

(2)沿革

1962年04月	阿部商会 創業
1966年06月	大雄土木株式会社 設立 阿部庄吉 代表取締役就任
1985年02月	阿部嘉澄 代表取締役就任
2000年05月	ユーハウス事業部 開設
2004年12月	ISO9001:2000 認証取得
2005年03月	株式会社大雄に社名変更
2009年09月	ISO9001:2008 認証取得
2009年10月	不動産事業部 開設
2010年06月	関連会社 株式会社イープロジェクト 設立
2012年09月	リフォーム・リノベーション事業部開設

2015年09月	ショールーム「リビングスタジオ・ラクラシエ」オープン
2017年03月	「ライフスタジオ各務原」オープン
2017年04月	atori カフェ オープン
2017年10月	ISO9001:2015 認証取得
2017年12月	atori パン工房 オープン
2019年05月	開発事業部 開設
2019年06月	ライフスタジオ各務原に事務所棟「Y-unico Garden」オープン atori パン工房蘇原店 オープン
2021年05月	岐阜県大垣市に「ライフスタジオ大垣」、事務所棟「noah's court」オープン
2022年08月	ISO14001:2015 認証取得
2023年06月	愛知県日進市に日進スタジオ「beat cocon (ベアココン)」オープン

(3)企業理念

建てていただいたお客様ご家族が、
毎日の生活の中で幸せを感じられる家を創りたい。

家づくりとは、「家をつくる事が目的」ではなく
「いい家をつくり、家族みんなでこれからの人生を楽しむ手段」だと考えています。
私たち株式会社大雄は「お客様のご家族が楽しく過ごせる空間づくりを通して、
幸せに暮らすお手伝いをする」ことが使命だと考えています。

(4)品質方針

1. 我が社は、美しく誠実な工事施工及びサービスを信条とし、住空間を創造する建設サービス業を通じて、地域社会の発展に貢献することを使命とします。
2. 我が社は、質の高い商品・サービスを迅速にご提供することにより、お客様の信頼と満足を得ることを目標とします。
3. 我が社は絶え間ない努力と改善により無駄を排除し、競争力のある強い企業を目指します。
4. 我が社は仲間の相互理解と連帯を重視すると共に、個人の独創性が生きる活気ある気風を育み、社員の満足とやり甲斐を追求します。

(5)環境方針

1. 地球温暖化防止のために、エネルギー使用量の低減を促進し併せて二酸化炭素の発生量を抑制します。
2. 生物多様性保全のために、生態系に配慮した事業活動を推進します。
3. 循環型社会構築のために、資源の有効利用と建設副産物の発生抑制・リサイクルを促進します。
4. 地域社会との信頼性を築くために、騒音・振動・粉じん・大気汚染の対策等、施工現場周辺地域の環境負荷低減に努めます。
5. 環境教育を推進し、全社員の環境意識の向上と共有を図ります。
6. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。

2. サステナビリティ

(1)家づくりによるまちづくりへの貢献

当社注文住宅ブランド YOU HOUSE の家の基本的コンセプトは、家事が楽になる動線配置と子育てのしやすさを重視した『ママと子供にやさしい家』、そして『自分らしい暮らし方のできる家』という+αを掲げており、理想の住空間づくりに貢献している。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

- ・ライフスタイルに応じた家づくりをサポートするプランナーの存在
- ・YouTube や SNS を活用した家づくりの提案
- ・パパママの声を大切にした 6 つのコンセプトモデルハウスの提供
- ・全館空調、耐震構法、SE 構法など必要に応じた機能性の選択
- ・設計において構造計算（許容応力度計算）の全棟採用で品質を担保
- ・30 年間で 11 回の定期点検を実施する当社独自の長期保証
- ・工事中の第三者機関 株式会社あんしん住宅保証の検査実施

(2)社会貢献に資する取り組み

当社は地域に根ざした経営に取り組み、事業活動や地域貢献活動を通じて、地域の方々が安心して暮らせるまちづくりの実現に貢献している。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

- ・「安心×安全×快適」を満たす最高基準の住宅提供
- ・住空間に加えて“食”から幸せを届ける「焼きたてパン工房」の運営
- ・国産小麦、国産バター、無添加生地こだわった安心・安全なパンの提供
- ・年 3 回、全社員参加で木曽川に架かるツインブリッジや各拠点の周辺道路の清掃等のボラ

ンティア活動

- ・現場周辺や行楽先で、救助を必要とする人に役立てるように、心肺蘇生法の講習ならびに AED の取り扱い方の講習を受講（普通救命講習修了証を全社員が保有）

(3)環境に資する取り組み

当社は、持続可能な社会の構築を目指し、ISO14001 を認証取得し、環境方針に則って、自然環境の創造と環境保全活動を自律的かつ継続的に推進している。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

- ・資源の有効利用と建設副産物の発生抑制・リサイクル促進
- ・騒音・振動や粉じん、大気等の汚染防止に注力
- ・環境教育を推進し、全社員の環境意識の向上と共有
- ・環境マネジメントシステムの継続的な改善
- ・省エネ住宅 ZEH の建築
- ・クラウドサービスの導入によるペーパーレス化の推進

(4)人材に資する取り組み

当社は毎期「社員手帳」を配布し、経営理念をはじめ、社内で定められている方針を共有し、従業員が同じ方向を目指して働く環境を整えている。そのうえで、多様な人材が生き生きと活躍できる環境づくりに積極的に取り組み、社内規定のみならず、各種認定の取得にも取り組んでいる。

具体的な取り組み内容は下記の通りである。

- ・事業を支える従業員の健康増進および事業継続のための健康経営への取り組み
- ・健康経営委員会の設置による各種健康施策の推進
- ・時短勤務等の柔軟な勤務体系の整備
- ・地域人材の積極的な採用と人材育成
- ・女性管理職の積極登用
- ・家事動線や収納提案など、女性目線の提案を大切にし、女性従業員の活躍推進
- ・人材に関する各種認定取得
 - ◆健康経営優良法人 2023 ブライト 500 認定
 - ◆岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定
 - ◆ぎふ建設人材育成リーディング企業ゴールドランク認定
 - ◆清流の国ぎふ健康経営優良企業として岐阜県知事より表彰

3. インパクトの分析

(1) 事業内容

当社は主に次項の4事業から構成される。

① 住宅関連事業（ユーハウス事業部、リフォーム・リノベーション事業部）

「ユーハウス事業部」

新築の注文住宅・一戸建て事業を営み、新築・注文住宅の設計、施工、管理を行う。当社の住宅建築の大きな特徴は、お客様の「自分らしい暮らし方ができる家」を追求する家づくりをサポートしていることである。

「自分らしいスタイル」を叶えるために、モデルハウスの充実や住宅構造の多様化、プランナーの配置や配信動画によるイメージの具現化などが挙げられる。

モデルハウスは、わかりやすい価格設定をテーマにした定額制注文住宅「Solata」、全館空調システム搭載の家「aire」、SE 構法の家「GRAND」、規格住宅「BinO」等がある。

YouTube や Instagram、TikTok、Line、Twitter を活用し、実際に建築した家を紹介するなど新築を考える人が「自分らしい暮らし方ができる家」を検討できる場を提供している。当社が手掛けた新築住宅を SNS 動画にすることで、モデルハウスだけでは伝わり切らないこだわりを配信している。動画配信にすることで、完成見学会とは異なり、いつでも視聴できる環境を整えて、多忙な現役世代の理想の家づくりにつながる取り組みを行っている。

「リフォーム・リノベーション事業部」

リフォーム・リノベーションの希望は多種多様であり、お客さまのライフスタイルの変遷にあわせて様々なプランを提供しており、水まわりのリフォームから家まるごとのリノベーションまで幅広く行っており、設計から施工のみでなく、暮らし方の提案も含めて行っている。

生活の要となる水まわりのリフォームは、当社独自の5年保証とすることで長く安心して使用できる環境を整えている。



② 不動産事業（株式会社イープロジェクト）

家づくりに欠かすことのできない土地探し。新築を検討するお客様が抱える土地探し問題と、土地を保有する地主の不動産有効活用の双方の問題を解決するため、当社では不動産事業

を営んでいる。少数精鋭でお客様の要望に応えることで、土地探しから家づくりのサポートを実施している。

不動産事業では、新築向けの土地分譲に限定せず、不動産売買・仲介、新築戸建分譲、中古戸建売買などの取り扱いがある。

③ 土木事業

宅地造成工事や公共工事を受注している。宅地造成工事では、その後建物を建てることまで考え、日当たりや駐車スペースの取り扱いを考慮した区画割りを心掛けている。公共工事では、道路工事や公園工事等の社会インフラ整備工事全般を請け負っている。さらに、民間工事においても商業施設の駐車場造成など、大規模工事に対応している。

④ 飲食事業

飲食事業としてパン工房とカフェの運営をしている。

「パン工房」atori パン工房

幸せな暮らしのお手伝いとして住空間だけではなく、“食”からも幸せのお手伝いをすべく、当社営業所に併設する形でパン工房を設置している。

国産小麦・国産バター・無添加生地こだわっており、安心安全なパンを提供することで、子供から大人まで幅広い年代からの支持を得ている。

「カフェ」atori café

素材ひとつひとつにこだわった『home made style』のカフェであり、暮らしの合間にほっと一息つける空間を提供している。コーヒーや紅茶だけではなく、地元食材を使った新鮮スムージーやパン工房のパンを使ったセットプレートなど、多彩なメニューを取り揃えている。



(2)事業のバリューチェーン

インパクトの特定のため、当社主力事業である「住宅関連事業」「不動産事業」「土木事業」「飲食事業」についてバリューチェーン分析を実施した。

①「住宅関連事業」

当社は、注文住宅をはじめ、リフォーム・リノベーション、土地探しなど住宅建築に関する事業を一貫対応し、住宅の設計、施工、アフターサービスを行う。

②「不動産事業」

不動産業に関しては、新築を検討しているお客様向けの土地分譲に限らず、各種取扱実績があり、地域の不動産活用に取り組んでいる。

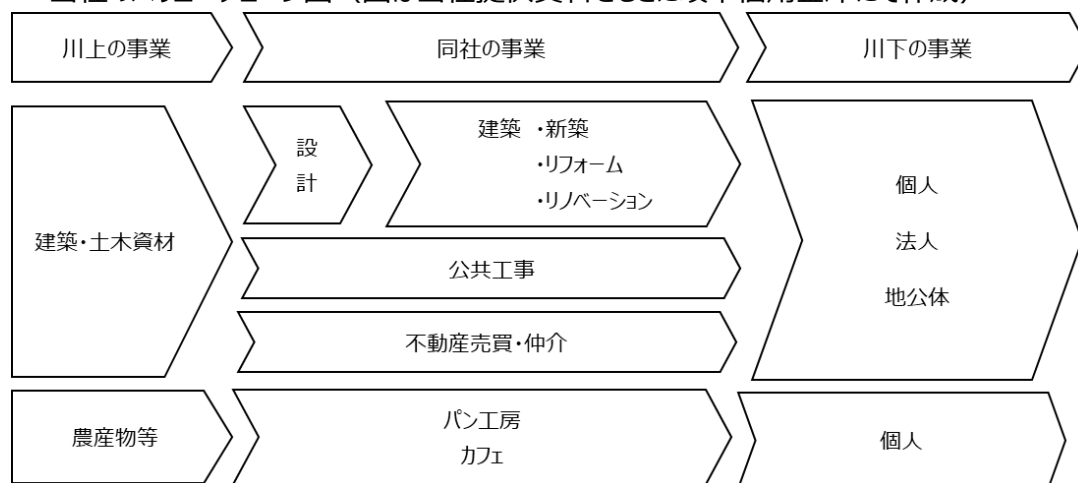
③「土木事業」

当社は宅地造成工事に加え、道路工事や公園工事など、社会インフラ整備工事を請け負っている。さらに、民間工事においても商業施設の駐車場造成など、大規模工事に対応している。

④「飲食事業」

当社は飲食事業としてパン工房やカフェの運営をしており、素材にこだわった商品を製造し、幅広い年代へ提供している。

当社のバリューチェーン図（図は当社提供資料をもとに岐阜信用金庫にて作成）



以上より、事業が「社会」「環境」「経済」に与えるインパクトについて、分析を実施する。

(3)インパクトレーダーによるマッピング

当社、および当社の川上の事業を国際産業標準分類(ISIC)上の業種カテゴリに適用させた上、UNEPFI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」(以下 PI)と「ネガティブインパクト」(以下 NI)を想定する。バリューチェーン分析上の川上の事業については「建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業 (ISIC:4663)」「食料品、飲料及びたばこ卸売業 (同 4630) 」を、当社の事業については「建築工事業 (同 4100)」「自己所有物件または賃貸物件による不動産業 (同 6810)」「その他の土木工事業 (同 4290)」「パン製品製造業 (同 1071)」「飲料提供サービス業 (同 5630) 」を適用し、それぞれ検証を行った。

ただし、川上事業について当社が与える影響は限定的であるため分析を省略し、またいずれの事業も個人が主な顧客となるため川下についても分析を省略する。

◎：主要カテゴリ ○：関連カテゴリ

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川上の事業		当社の事業①		当社の事業②		当社の事業③	
	【4663】 建築材料、金物類及び配管 暖房設備器具卸売業		【4100】 建築工事業		【6810】 自己所有物件または賃貸物件による不動産業		【4290】 その他の土木工事業	
	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
水								
食糧								
住居	○		◎		○	○		
健康・衛生	○		○	○	○	○		○
教育								
雇用	○	○	○	○	○	○	◎	○
エネルギー	○		○	○				
移動手段								
情報								
文化・伝統				○	○	○		○
人格と人の安全保障				○				
正義・公正								
強固な制度・平和・安定								
水（質）		○		○				○
大気		○		○				○
土壌				○		○		○
生物多様性と生態系サービス		○		○		○		○
資源効率・安全性				○		◎		○
気候		○		◎		◎		○
廃棄物		○		◎		○		○
包括的で健全な経済			○		○		◎	
経済収束			○				◎	

◎：主要カテゴリ ○：関連カテゴリ

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川上の事業		当社の事業④		当社の事業⑤	
	【4630】 食料品、飲料及び たばこ卸売業		【1071】 パン製品製造業		【5630】 飲料提供サービス業	
	PI	NI	PI	NI	PI	NI
水						
食糧	○		○			
住居						
健康・衛生		○	○	◎	○	○
教育						
雇用	○	○	○	○	○	○
エネルギー						
移動手段						
情報						
文化・伝統			○			
人格と人の安全保障						
正義・公正						
強固な制度・平和・安定						
水（質）		○		○		
大気		○				
土壌						
生物多様性と生態系サービス		○				
資源効率・安全性				○		
気候		○		○		
廃棄物		○		◎		○
包括的で健全な経済			○			
経済収束						

当社の事業① 建築工事業（ISIC：4100）

PI	「住居」「健康・衛生」「雇用」「エネルギー」「包括的で健全な経済」
NI	「健康・衛生」「雇用」「エネルギー」「人格と人の安全保障」「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」

「文化・伝統」「経済収束」については、与える影響が希薄なため分析を省略する。

◆「住居」

住宅の建設は人々の居住空間を創出し、暮らしや安全を守るためPIを発現させる一方、立地や価格等によっては住宅へのアクセスに悪影響を与える可能性があるためNIを発現させる。

当社は、プランナーによるお客様へのきめ細かな相談対応やアフターサービスの充実による理想の家づくりができることに加え、許容応力度計算の全棟実施等により構造面から安全性を担保している。また、当社の注文住宅は複数プランから理想のプランを選択することが可能、かつ、土地探しから家づくりのサポート受けられる体制を整えることでPIの拡大に貢献している。

上記は SDG11「住み続けられるまちづくりを」に該当する。

「11.1：2030年までに、すべての人々が、適切で安全・安価な住宅と基本的サービスを実際に利用できるようにし、スラムを改善する。」

◆「健康・衛生」

住宅は住環境の提供によって居住者の健康・衛生面が支えられるという PI が発現する一方、使用する資材によって健康を損なうという NI が発現する。

当社は『自分らしい暮らし方のできる家』をコンセプトに、価格面・デザイン面など居住者の理想に近い家づくりができる環境を提供することで PI の拡大に貢献している。理想の家づくりに取り組む過程で機能面にも配慮しており、気密性能（C 値≒0.3）、HEAT20G2 グレード（UA 値≒0.46 以下）、第 1 種換気扇、基礎断熱仕様等、『安心×安全×快適』を追求した高水準の家を提供することで NI の緩和に努めている。

上記は SDG3「すべての人に健康と福祉を」に該当する。

◆「エネルギー」

建物の設計、建築方式によっては省エネに寄与する可能性があるという PI と、設計、建築方式によってはエネルギー効率を損なうという NI が発現する。

当社は理想の家づくりに加え、経済性、快適・健康性、レジリエンスが実現できる省エネ住宅 ZEH の普及にも積極的に取り組んでおり、ZEH 普及実績および目標を HP 上に掲げることで省エネ住宅推進を強固なものとし、PI の拡大に貢献している。また、省エネ住宅への継続的な取り組みにより NI の緩和に努めている。

上記は SDG7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に該当する。

「7.2: 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。」

◆「雇用」

建築工事は、多くの雇用により従業員の生活を守るとともに、スキルや知識の習得による成長に繋がることから PI を発現させる。一方、長時間労働や高ストレスによる健康被害の発生や雇用形態の問題の発生の可能性があるため NI を発現させる。

当社は、健康経営優良法人 2023 プライム 500 や岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定等の取得を通じて働きやすい職場環境の形成や社員手帳による基本方針の共有化を図っている。また、女性目線を意識した提案や女性管理職の積極登用を実施し、性別に分け隔てなく活躍できる場を提供し、PI の拡大に貢献している。そのほか、週に一度のノー残業デーの設定による長時間労働の抑制やセクハラ・パワハラ相談窓口を設置し、NI の緩和に努めている。

上記は SDG3「すべての人に健康と福祉を」、SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」、SDG8「働きがい経済成長も」に該当する。

「5.5: 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画および平等なリーダーシップの機会を確保する。」

「8.8: 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。」

◆「人格と人の安全保障」

労働環境によっては従業員が安全が守られないという NI が発現する。

当社は、従業員が現場で守るべき事項として『現場べからず訓』を策定し、お客様の現場に掲げている。現場に掲げることで、責任ある行動を促している。そのほか、安全衛生協力会を形成し、安全衛生への認識を強化することで、NI の低減に努めている。

上記は SDG8「働きがい経済成長も」に該当する。

「8.8: 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。」

◆「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」

建築工事で使用する材料や工事内容によっては、水質や大気、土壌に悪影響を及ぼす可能性があることから NI を発現させる。

当社は、ISO14001 の認証取得に取り組み、環境教育の推進や環境マネジメントシステムによる継続的な改善活動など、環境負荷低減の取り組みを実践し、NI の緩和に努めている。さらに、省エネ住宅である ZEH の推進により NI を緩和している。

上記は、SDG3「すべての人に健康と福祉を」、SDG12「つくる責任つかう責任」、SDG13「気候変動に具体的な対策を」に該当する。

「3.9: 2030 年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。」

◆「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」

建築工事においては、大量の資源やエネルギーを利用し、温室効果ガスを排出するため、NI を発現させる。また、使用した資材等は将来的に廃棄物となる可能性があるため、同じく NI を発現させる。

当社は、環境方針に基づき、エネルギー使用量の低減や二酸化炭素発生量の抑制に努めている。また、リフォーム・リノベーション事業としてライフスタイルに応じた改修工事を手掛けることで建て替えと比較して廃棄物を抑制しており、NI の低減に努めている。

上記は SDG12「つくる責任つかう責任」に該当する。

「12.5: 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。」

◆「包括的で健全な経済」

事業活動により地域経済が活性化するという PI が発現する。

当社では、注文住宅をはじめ、リフォーム、リノベーションなど多種多様な要望に対して応じる体制が整っており、営業エリア内においては長年にわたり継続的な取引が図られ、PI の拡大に貢献している。

上記は SDG9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、SDG11「住み続けられるまちづくりを」に該当する。

当社の事業② 自己所有物件または賃貸物件による不動産業（ISIC：6810）

PI	「住居」
NI	「住居」

分析にあたり、「健康・衛生」「雇用」「包括的で健全な経済」は当社の事業①「建設工事業」と重複するため、分析を割愛している。

「文化・伝統」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」については、与える影響が希薄なため分析を省略する。

◆「住居」

住宅建築には土地が必須であり、立地条件により生活の充実が図られるという PI を発現させる一方、購入価格等の金額制限により立地条件が悪くなる可能性があるという NI が発現する。当社は土地探しから住宅建築をサポートすることで、価格面、立地面を考慮した上での住宅建築に取り組むことで、PI の拡大に貢献するとともに、資金計画を考慮した住宅プランニングにより金額面を考慮した住宅設計を実施し NI を緩和している。

上記は SDG11「住み続けられるまちづくりを」に該当する。

「11.1：2030年までに、すべての人々が、適切で安全・安価な住宅と基本的サービスを確実に利用できるようにし、スラムを改善する。」

当社の事業③ その他の土木工事業（ISIC：4290）

PI	「包括的で健全な経済」
----	-------------

分析にあたり、「健康・衛生」「雇用」「文化・伝統」「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」は当社の事業①「建設工事業」と重複するため、分析を割愛している。

「経済収束」については、与える影響が希薄なため分析を省略する。

◆「包括的で健全な経済」

事業活動により地域経済が活性化するという PI が発現する。

当社の土木工事業においては、宅地造成工事に留まらず、道路工事や公園工事等、社会イン

フラ整備に関係する工事全般を請け負うことで、PI の拡大に貢献している。

上記は SDG11「住み続けられるまちづくりを」に該当する。

「11.3: 2030 年までに、すべての国々で、だれも排除しない持続可能な都市化を進め、参加型で差別のない持続可能な人間住居を計画・管理する能力を強化する。」

当社の事業④ パン製品製造業 (ISIC : 1071)

当社の事業⑤ 飲料提供サービス業 (ISIC : 5630)

PI	「食糧」「健康・衛生」
NI	「健康・衛生」「廃棄物」

分析にあたり、「雇用」は当社の事業①「建設工事業」と重複するため、分析を割愛している。

「文化・伝統」「水(質)」「資源効率・安全性」「気候」「包括的で健全な経済」については、与える影響が希薄なため分析を省略する。

◆「食糧」

パンづくりは人々の食生活を支えるため PI を発現させる。

当社は、住空間に加えて“食”から幸せを届ける「atori パン工房」や「atori café」を運営し、食を通じた幸福を実現し PI の拡大に貢献している。

上記は SDG2「飢餓をゼロに」に該当する。

◆「健康・衛生」

食事の摂取により人々の幸福を実現するという PI が発現する一方、扱う食材によっては人々の健康が害されるという NI が発現する。

当社は、住空間の創出に加え、子どもと一緒に毎日食べたくなる多種多様なパンを提供することで PI の拡大に貢献している。また、国産小麦・国産バター・無添加生地にごこだわり、食の安全性を重視した商品を提供することで、NI を緩和している。

上記は SDG3「すべての人に健康と福祉を」に該当する。

◆「廃棄物」

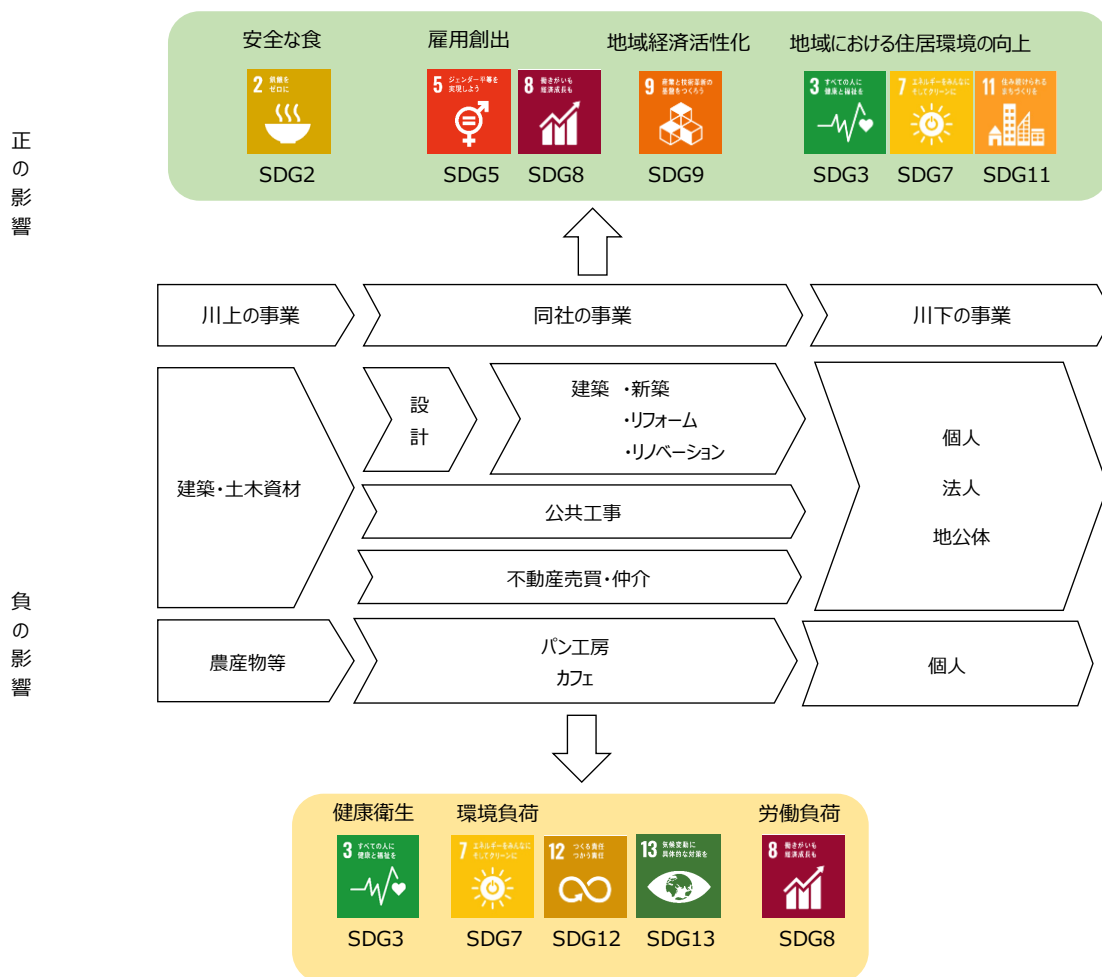
食品の製造現場においては、賞味期限切れ等様々な要因により廃棄問題が発生し、NI を発現させる。

当社は、提供手段の多様化に取り組むことで食品廃棄が出ない工夫を実践し、NI の緩和に努めている。

上記は SDG12「つくる責任つかう責任」に該当する。

(4)インパクトの特定

当社の事業に合わせて、発生するインパクトを分類したうえで、下記の3つにインパクトを特定した。



① 自分らしい暮らし方のできる家を実現し安心して暮らせるまちづくりへの貢献：SDG9,11

・理想を実現する家の提供

顧客一人ひとりに合った住宅を提供し、人々が生き生きと暮らせることはまちづくりの礎となる。当社は、理想の家づくりに向けてじっくりと時間をかけてお客様へヒアリングを実施し、デザイン性や間取りだけでなく、実際に住む視点に立った提案も柔軟に行っている。また、定期点検等のアフターフォローも充実しており、顧客一人ひとりの幸せや安心を生み出し、社会に貢献している。

・地震に強い家づくり

建物の安全性を徹底するために、様々な技術を活用し、地盤調査から基礎工事、建物に至るまで、それぞれの施工品質を厳しくチェックしている。また、許容応力度計算を全棟実施し、部材ごとの応力を求め、建物の耐震性を確認している。

当社では、YOU HOUSE の家の基本的コンセプトにあるように、家事が楽になる動線配置と子育てのしやすさを重視した『ママと子供にやさしい家』、そして『自分らしい暮らし方のできる家』という+αを掲げており、理想の住空間づくりに貢献している。住宅建築は人生における一大イベントであり、当社のサポート体制により理想の家を実現し、地域住民を増やすことで地域経済の活性化に貢献している。

当社は「理想の住空間づくり」を重要テーマとしており、今後お客様アンケートを実施することで、家づくりの満足度を把握し、理想の住空間づくりを強化していく方針である。

このインパクトは、UNEP FI のインパクトレーダーでは「住宅」「包括的で健全な経済」のカテゴリに該当し、社会的側面、経済的側面の PI を拡大すると考えられる。

② 省エネ住宅の推進による快適性向上・環境負荷低減：SDG3,12,13

・施工現場の環境負荷低減

ISO14001 認証取得の取り組みにより環境教育の推進や環境マネジメントシステムによる継続的な改善活動など、環境負荷低減の取り組みを実践している。環境方針に基づき、エネルギー使用量の低減や二酸化炭素発生量の抑制、リフォーム・リノベーション事業としてライフスタイルに応じた改修工事を手掛けることで建て替えと比較して廃棄物を抑制している。

・エネルギー効率の改善

『安心×安全×快適』を追求した高水準の家を提供するため、当社では気密性能（C 値≒0.3）、HEAT20G2 グレード（UA 値=0.46 以下）、第 1 種換気扇、基礎断熱仕様等に配慮した住宅を建築し、各家庭のエネルギー効率改善に貢献している。

当社は理想の家づくりに加え、経済性、快適・健康性、レジリエンスが実現できる省エネ住宅 ZEH の普及にも積極的に取り組んでおり、高断熱・高気密を実現した ZEH の提供により、室温が一定に保たれることで居住者へ快適な住まいの提供に繋がる。快適な暮らしを実現させることで、人々の健康へ貢献する。また、ZEH 普及実績および目標を HP 上に掲げることで省エネ住宅推進を強固なものとし、各家庭における再生可能エネルギーの利用の効率化をさらに加速させていく方針である。

さらに、お客様への ZEH 仕様住宅普及を図るのみではなく、当社の事業活動から排出される CO2 を把握することで、CO2 削減に取り組み環境に配慮した事業活動を展開していく方針である。

このインパクトは、UNEP FI のインパクトレーダーでは「健康・衛生」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」のカテゴリに該当し、社会的側面の PI を拡大し、環境的側面の NI を緩和すると考えられる。

③ 従業員が生き生きと活躍できる職場づくり：SDG3,5,8

・労働環境の整備

当社は健康経営やワーク・ライフ・バランスへの取り組みを実践しており、健康経営優良法人2023 ブライト 500 認定や岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定、ぎふ建設人材育成リーディング企業ゴールドランク認定など、各種認定の取得を通じて働きやすい職場環境の形成に取り組んでいる。また、従業員には社員手帳を毎年配布し、基本方針の共有化を図ることで、企業の方向性を示している。

・女性活躍推進

当社は家事動線や収納提案など、女性目線の提案を大切にしていることから、女性従業員の活躍推進に取り組んでいる。多様な人材が活躍できる職場とするため、時短勤務等の柔軟な勤務体系を整備し、性別による分け隔てない労働環境を整備している。さらに、女性管理職比率の向上に積極的に取り組んでいる。

・健康増進

事業を支える従業員の存在は大きく、従業員の健康増進は経営上の重要なテーマである。当社は健康経営の取り組みをきっかけに、生活習慣病等の発生予防、重症化予防（運動促進、禁煙等）やメンタルヘルス関連（ストレスチェック、メンタルヘルス研修等）、労働時間の適正化（労働時間管理、男性含む育児休業の取得推進等）を実施し、社員一人ひとりの健康保持および増進に寄与している。

当社は、各種認定制度の活用をきっかけに従業員が働きやすい環境整備に積極的に取り組んでいる。お客さまの理想の住宅を完成させるためには、複数の従業員が連携しつつ住宅を築き上げる必要があり、今後ますます職場環境の整備による従業員の活躍が重要となる。従業員の健康増進を重要な経営テーマとして引き続き取り組んでいく方針である。

このインパクトは、UNEP FI のインパクトリーダーでは「雇用」のカテゴリに該当し、社会的側面のPI を拡大すると考えられる。

(5)インパクトニーズの確認

①日本におけるインパクトニーズ

下図は、「SDG インデックス&ダッシュボード 2023」を参照したものであり、SDGs の 17 の目標別に日本の達成度を表している。「緑は目標達成」、「黄は課題が残っている」、「橙は重要な課題が残っている」、「赤は主要な課題が残っている」としている。

当社のインパクトに対する SDGs のゴールは「3、5、8、9、11、12、13」であり、日本のインパクトニーズに概ね整合していると判断している。日本ではその大部分において、課題が残っているものであり、特定されたインパクトは有意義であると判断できる。



(出典 : SDSN)

②岐阜県におけるインパクトニーズ

当社の事業活動は立地する岐阜県を中心に行われていることから、「岐阜県 SDGs 未来都市計画」を参照し、岐阜県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

下記の通り、岐阜県では「<環境>美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用」、「<経済>「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立」、「<社会>誰もが活躍し生きがいを感じられる地域社会の構築」を 2030 年のあるべき姿と設定し SDGs 達成に向けた課題を設定しており、当社における自分らしい暮らし方のできる家を実現し安心して暮らせるまちづくりや省エネ住宅の推進などの取り組みが、岐阜県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

岐阜県 第2期SDGs未来都市計画の概要

計画の位置付け

- ・内閣府に「SDGs未来都市」として選定された自治体が2030年のあるべき姿を実現するための、環境・経済・社会の3側面の取組みを具体化したアクションプラン。
- ・第1期計画が令和4年度で終了することから、第2期(令和5年度～令和7年度)計画を策定。

地域特性

①岐阜県の特徴

- 豊かな自然環境**
 - ・豊かな森林と美しい清流に恵まれた「山紫水明」の地(森林面積、河川延長は全国屈指)
 - ・これらは岐阜県が優位性を有する「自然資本」
- 「豊かな自然」が育んだ魅力あふれる地域資源**
 - ・豊かな自然から得た地域資源を確に各地域で独自の生活様式や文化を形成
 - ・世界農業遺産「長良川システム」の認定(2015年)
 - ・「清流」が織りなす文化、食、営みにより本県は「清流の国」と呼ばれるアイデンティティを確立
- 多彩な農林畜水産物**
 - ・多彩な農林畜水産物の生産(ほうれんそう、トマト、柿、栗、飛騨牛、東濃産等)
- 多様なものづくり(伝統工芸から先端産業まで)**
 - ・多様な製造業が集積(飛騨の家具、関の刃物、美濃和紙、美濃焼、電気機械・工作機械などの製造業、航空宇宙産業等)
- 魅力的な観光地とインバウンド**
 - ・魅力的な観光資源(白川郷、下呂温泉、飛騨高山、長良川鶴岡、関ヶ原、地歌興夜等)
 - ・サステイナブル・ツーリズムの推進
 - ・世界の持続可能な観光地100選【白川村(2020年)、長良川流域(2021年)、下呂市・下呂温泉(2022年)】
 - ・「NEXT Gifu HERITAGE～岐阜未来遺産～」認定制度の創設

②岐阜県の人口

<総数と予測> 201万8千人(2020年)→197万9千人(2020年)→136万7千人(2050年)
 <年齢構成の予測>2050年：生産年齢人口(15～64歳)は5割まで減少、高齢人口(65歳以上)は4割増

今後取り組む課題

- 少子高齢化に対応した地域活性化が必要
- アフターコロナを見据えたDX、GXなどの推進が必要
- 気候変動や環境問題等、フロンティア・バウンダリーへの視点での対応が必要

持続可能な「清流の国ぎふ」づくり

- <環境>**
 - ・温室効果ガス削減
 - ・自然と人が共生できる社会の確立、等
- <経済>**
 - ・デジタル技術を活用したビジネス変革
 - ・社会経済情勢の変化に強い経営体質等へのシフト、等
- <社会>**
 - ・誰もが活躍でき生きがいを得られる社会的包摂
 - ・デジタル化やSDGsといった課題に対応できる教育、等

これらに「オール岐阜」での取組みが不可欠

2030年のあるべき姿

自然と人が創り出す 世界に誇る「清流の国ぎふ」

【あるべき姿】を実現するための共通認識

- ・森林や清流などの豊かな自然は、全国・世界にも誇れる本県ならではの「自然資本」
- ・各地域が特徴を活かし、地域内で財やエネルギーが循環する「地域循環共生社会」を形成すべき
- ・SDGsは地球で暮らす一人ひとりが最低限確保すべきマナーと理解すべき

<環境> 美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用

- ・「脱炭素社会ぎふ」の実現
- ・資源循環型社会の形成

- ・自然環境や生物多様性の保全と産業等での活用との両立
- ・自然災害への対策の構築

<経済> 「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立

- ・伝統産業や農林水産業の世界的評価を獲得
- ・DXによる産業分野の競争力の発揮

- ・サステイナブル・ツーリズムの確立
- ・コロナ等社会経済情勢の変化に強い産業の確立

<社会> 誰もが活躍し生きがいを感じられる地域社会の構築

- ・多様な人材の活躍
- ・デジタル社会、SDGs、グローバル社会に対応した教育の展開

- ・人口減少下でも活力ある地域社会の構築
- ・子育て支援等福祉資源の充実

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

環境	経済	社会											
<ul style="list-style-type: none"> ・「脱炭素社会ぎふ」の実現、自然環境・生物多様性の保全、資源循環型社会の形成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用したビジネス変革の推進、多様な人材の確保、定着等、社会経済情勢の変化に強い産業構造を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人取り残されることなく活躍できる人口減少下でも活力ある地域社会を目指す。 											
<p>【KPI】(指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス総排出量 ・家庭一世代当たりのエネルギー消費量 ・一般/産業廃棄物排出量 ・人工造林面積(両辺林等) 	<p>【KPI】(指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業産出額 ・林業産出額 ・従業員一人当たりの付加価値額 ・観光消費額 ・一人当たり県民所得 	<p>【KPI】(指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらしの満足度 ・合計特殊出生率 ・労働力率 ・移住者数(累計) 											
<p>※目標値は27に記録</p>													
<p>※目標値は29に記録</p>													
<p>※目標値は30に記録</p>													
<p>ゴール、ターゲット実現のため「オール岐阜」でSDGsを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民一人ひとりがSDGsの理念や意義を理解し、その達成に向け行動する社会を目指す。 													
<p>【KPI】(指標)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県民のSDGs達成に向け行動に移した割合 ・「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数 ・新たな登録制度の登録事業者数(累計) </td> <td style="width: 50%; text-align: right;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>52.8%(2022年度)</td> <td>→</td> <td>80.0%(2030年度)</td> </tr> <tr> <td>924会員(2021年度)</td> <td>→</td> <td>1,650会員(2025年度)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>→</td> <td>600企業・団体(2025年度)</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・県民のSDGs達成に向け行動に移した割合 ・「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数 ・新たな登録制度の登録事業者数(累計) 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>52.8%(2022年度)</td> <td>→</td> <td>80.0%(2030年度)</td> </tr> <tr> <td>924会員(2021年度)</td> <td>→</td> <td>1,650会員(2025年度)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>→</td> <td>600企業・団体(2025年度)</td> </tr> </table>	52.8%(2022年度)	→	80.0%(2030年度)	924会員(2021年度)	→	1,650会員(2025年度)	—	→	600企業・団体(2025年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・県民のSDGs達成に向け行動に移した割合 ・「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数 ・新たな登録制度の登録事業者数(累計) 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>52.8%(2022年度)</td> <td>→</td> <td>80.0%(2030年度)</td> </tr> <tr> <td>924会員(2021年度)</td> <td>→</td> <td>1,650会員(2025年度)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>→</td> <td>600企業・団体(2025年度)</td> </tr> </table>	52.8%(2022年度)	→	80.0%(2030年度)	924会員(2021年度)	→	1,650会員(2025年度)	—	→	600企業・団体(2025年度)			
52.8%(2022年度)	→	80.0%(2030年度)											
924会員(2021年度)	→	1,650会員(2025年度)											
—	→	600企業・団体(2025年度)											

(出典：岐阜県第2期SDGs未来都市計画の概要)

21

③岐阜信用金庫との親和性

◆「ぎふしん SDGs 宣言」

以下の3項目を SDGs 達成に向けた重点課題としている。

- (1) 持続可能な地域の経済成長のための活動
- (2) 持続可能な地域産業の基盤構築のための活動
- (3) 持続可能なまちづくりのための活動

◆親和性の確認

本件 PIF の取り組みに際し特定した当社のインパクトである「自分らしい暮らし方のできる家を実現し安心して暮らせるまちづくりへの貢献」は、「ぎふしん SDGs 宣言」の(1)、(3)と、「省エネ住宅の推進による快適性向上・環境負荷低減」は、「ぎふしん SDGs 宣言」の(3)と、「従業員が生き生きと活躍できる職場づくり」は、「ぎふしん SDGs 宣言」の(1)、(2)と強い親和性があり、相互に協力しあうことで、「経済」「社会」「環境」の3つの側面に渡り、持続可能な開発に関する枠組みとして、良質な効果が発生するものと思われる。

以上から、本 PIF の取り組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。




4. KPI の設定

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、先に特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する。



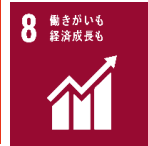
■ 自分らしい暮らし方のできる家を実現し安心して暮らせるまちづくりへの貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面・経済的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクト・カテゴリ	「住居」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001 認証の取得継続 ・許容応力度計算の結果を踏まえ、耐震性に優れた住宅建築を手掛ける
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 12 月期まで ISO9001 の継続的な認証取得を継続し品質面を担保する。 ・2030 年 12 月期まで継続的に許容応力度計算を全棟実施する。 ・2033 年 12 月まで継続的に、新築 1 年後のお客様にアンケートを実施し、理想の住宅と回答する割合を 90%とする。

■ 省エネ住宅の推進による快適性向上・環境負荷低減

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 環境的側面においてネガティブインパクトの緩和
インパクト・カテゴリ	「健康・衛生」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2 排出量の見える化を実施し計画的に CO2 削減に取り組む ・省エネ住宅の推進として ZEH を普及させる
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2023 年 12 月期までに CO2 排出量の可視化を実施する。 ・CO2 見える化を実施後、2030 年 12 月期までに 2023 年 12 月期対比 15%の削減を達成する。 ・2030 年 12 月期までに、ZEH 仕様率 100%とする。 <p>※すべての建築する住宅を ZEH 仕様とする。</p>

■ 従業員が生き生きと活躍できる職場づくり

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクト・カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進の拡大 ・健康経営の取り組み強化
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 12 月期に女性従業員雇用率 40%以上。 ・2030 年 12 月期に女性管理職比率 30%以上。 ・2030 年 12 月期まで岐阜県ワーク・ライフ・バランス企業認証を継続取得していく。 ・2030 年 12 月期まで継続的に健康経営優良法人認定を取得し、運動習慣を取り入れた社員を 10%増やす。

5. モニタリング方法およびマネジメント体制

(1)当社におけるインパクトの管理体制

当社では、代表取締役の阿部嘉澄氏を中心に自社業務の棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。

今後についても、阿部嘉澄氏を中心に山口周平氏や土木部の協力を仰ぎながら SDGs の推進、並びに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

【モニタリング体制】

統括責任者	代表取締役 阿部 嘉澄
プロジェクトリーダー	土木部 山口 周平

(2)当金庫によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、当社と岐阜信用金庫の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。情報共有については、少なくとも年に 1 回実施することに加え、日々の情報交換や営業活動を通じて実施していく。

(3)モニタリング期間

下記の通り融資返済期限と同一期間にて定める。

モニタリング期間 (返済期限)	10 年間 (2033 年 8 月 20 日)
--------------------	----------------------------

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、岐阜信用金庫が現時点で入手可能な公開情報、株式会社大雄から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 岐阜信用金庫が本評価に際して用いた情報は、岐阜信用金庫がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。岐阜信用金庫は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は岐阜信用金庫に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。